



要求実現

市立病院旧病棟 発熱外来として活用へ



昨年12月にOPENした新病棟



8月に解体予定だった旧病棟

10月26日、南区の2つの住民団体、南区住みよい町づくり連絡会と南区西住みよいまちをつくろう会が「市民を新型コロナウイルス感染から守るための要望署名」の第二次分1049筆を市に提出（第一次分との合計は3132筆）し、市立病院旧病棟の活用や検査体制の拡充などを要望しました。懇談には神田よしゆき、金子あきよ両市議が同席しました。

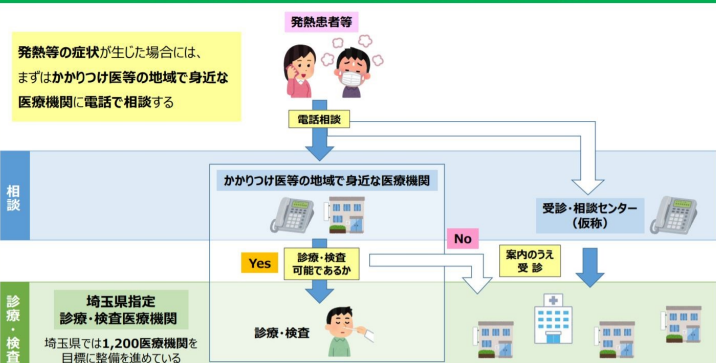
11月6日、清水市長が記者会見で、インフルエンザ流行期と新型コロナウイルスのさらなる感染拡大に備えた市立病院の対応について発表しました。そのなかで、市立病院の旧病棟（西病棟の一部）を発熱外来として11月20日頃から活用すること、新型コロナウイルス感染拡大「ピーク期」において、新病院の感染症病床を現在の30床から40床に増床（さらに50床への増床を県と調整中）することを明らかにしました。

市立病院新病棟の感染症専用病床を拡大する対応をとること、PCR検査は1日600件実施できるようになっているが（最大検査能力1日750件）、学校区に1つ程度の医療機関で検査ができるレベルに増やし、検査可能な医療機関を公表するよう医師会に協力依頼している

ことが確認されました。

党市議団は、インフルエンザとの同時流行などが懸念されるなか、さらなる新型コロナウイルス感染症の対策と、さいたま市の医療保健体制の拡充を図るため、引き続き市に対する要望を強めてまいります。

今後の発熱等の症状のある方の相談・受診の流れ



インフルエンザ流行期等に備えた市立病院の対応

- インフルエンザ流行期に想定される市立病院の課題

- 発熱患者が多数発生することが予想され、新病棟の感染外来では、発熱患者の動線の分離や十分な待合の確保ができないおそれ

旧病棟を活用した発熱外来

新病棟の感染外来で行っている発熱患者の検体採取と診療の一部を、旧病棟で実施する

【实施概要】

設置場所：旧病棟（西病棟1階の一部）
実施時期：11月20日頃～
受診方法：事前予約制

【效 果】

- 一般外来患者と発熱患者の動線を分離
 - ▶ 一般外来患者と医療従事者への感染防止
- 発熱患者が安心して受診できる待合スペースを提供
 - ▶ 発熱外来での感染拡大を防止

「ピーク期」において、新病院での病床の更なる増床を調整中

現在 (感染拡大期)	ピーク期	ピーク期 (更なる増床)
30床	40床	50床 (調整中)

市立病院としてもインフルエンザの流行期や新型コロナウイルス感染症の更なる拡大に備えて体制の整備を進める

- * 一般外来患者と発熱患者の動線を分離することで、感染防止のリスクを大幅に下げることができます。
* 予約したうえで来院し、検査結果に合わせて受診科が振り分けられます。

とばめぐみ 生活相談所 & 法律相談

東新井生活相談所
毎週水曜日 14:00～16:00
御蔵1545-2
☎048-686-7069

大和田・堀崎生活相談所
毎週火曜日14:00～17:00
大和田2丁目1347-4
☎048-684-9555

東大宮生活相談所
第1第3水曜日
13:00～15:00
東大宮4-27-1
☎048-652-5242

蓮沼生活相談所
毎週水曜日 10:00～12:00
蓮沼471
☎048-685-6240

弁護士法律相談：要予約
毎月第2金曜日
18:00～20:00
大和田・堀崎生活相談所
お申込み ☎048-829-1811
(さいたま市議団)

11/15大宮駅東口 日本共産党小池晃街頭演説に1000人



日本共産党小池晃書記局長は、新型コロナウイルス感染拡大の第3波のもと、徹底したPCR検査での感染者保護、医療機関や保健所への強力な支援が待ったなしだと強調。「Go To」事業について「利用するかは国民の判断」と述べた西村康稔経済再生担当相を批判し、「感染したら自己責任ということか。あまりに無責任だ。立ち止まって見直すべきだ。検査と医療を充実させ、安心して旅行に行けるようにするのが政治の責任。自粛と補償はセットの大原則で暮らしと営業を本気で支える政治を」と訴えました。

といわけ感動を呼んだ応援弁士に立った市民の訴え



みんな、こんにちは。私は東大宮から来た自動車部品の会社に勤めている、7歳と5歳の子どもの母親で、日々の家事、育児、仕事に追われる一市民です。

私は生まれてからずっと、ニュースも新聞もほとんど見ず、政治にも特に無関心に生きてきたのですが、今年の2月頃、コロナがきっかけになり、日本政府が次々に繰り出すあまりにもおかしいコロナ対応に異常を感じ、初めてツイッターを使って情報を取りにいくようになりました。

すると、ツイッターにより各界の専門家や著名人の生の声が直接取れるようになり、知れば知るほど、いかに今の政府がひどいかがわかり、愕然としました。

その一方、市民に寄り添い、強い危機感を持って様々な具体的なメッセージを発信し行動している人達も沢山いる事、そして、この人もあの人も日本共産党の議員さんである事に気づ

き、非常に驚きました。

私にとって日本共産党とは、何となく古くて怖い存在でしかありませんでした。新聞もテレビもそのようにしか報じないからです。そもそもろくに報道すらされません。

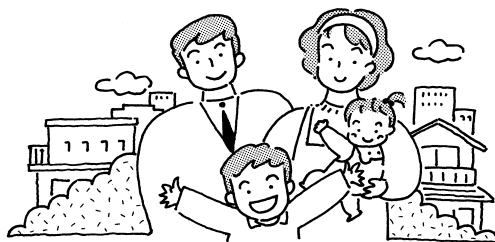
しかしツイッターで直接繋がった彼ら彼女らのメッセージに動かされ、本当の彼らの声をもっと聞きたいと思い、『しんぶん赤旗』を購入し始めました。そして読めば読むほど、危機感が強まり、もう一歩踏み込んで何かしたい気持ちになり、8月に日本共産党に入党した次第です。

今の政権はメディアを支配しているので、新聞もテレビも政権に不都合な事を報道してくれません。しかしツイッターやこのように街頭で直接呼びかける自由はまだあります。

しかしこれもその内合法的に規制されかねないという危機感も持っています。

あらためて、心優しく志の高い日本共産党の皆さんを心から応援したいと思います。

ひとりでも多くの方に、この街宣をきっかけにして日本共産党に興味を持ち、もっと知って頂いて、応援して下さいを心から願っています。



しんぶん赤旗はスマホやパソコンで読める電子版もございます。

しんぶん赤旗

日刊

(毎日配達されます)

月3,497円

日曜版

(毎週配達されます)

月930円

お申し込みは

お近くの党事務所か
党員までお願いします

日本共産党

検索

日本共産党